



卓越した若手研究者の育成を目指して

テニュアトラック普及・定着事業

埼玉大学テニュアトラック 第2回研究発表会

日時/ 平成28年4月15日(金曜日)、13:00~16:25

場所/ 総合研究棟1階 シアター教室

趣旨：日本のテニュアトラック制度は、大学の研究力アップを図る切り札として、平成18年度に発足しました。埼玉大学にあっても、自律的に研究できる環境整備等を通じた新しい研究体制の構築、新領域の開拓やイノベーションの創出、教員の年代・ジェンダー・国際バランスの是正等の効果を期待して、平成25年度に本格導入され、平成28年3月末現在、8名のテニュアトラック教員が研究・教育に従事しております。

しかし当初のこの期待は、一部のテニュアトラック教員だけの頑張りでは到底望めないことであって、一般教員を含む全体の活性化があって初めて叶えられるものです。すなわち、テニュアトラック制度導入の波及効果は、大学全体の変革・活力に繋がっていかねばならず、この点にこそ、テニュアトラック制度導入の効果を測る核心があるといえましょう。本研究発表会は、この観点から、テニュアトラック教員の研究結果を一般に公開することによって、一般教員との研究交流（共同研究）や異分野教員間の融合研究の促進を促すべく、企画されました。一人でも多くのPI (Principal Investigator) が誕生し、またその結果として、埼玉大学の研究力が全体としてアップするとすれば、テニュアトラック制度の役割は、大いに達成されたと申せましょう。

プログラム

前半司会：前田慎市、Sung-Chul Noh

13:00~13:05 開会挨拶

佐藤勇一 埼玉大学 研究機構長

13:05~13:20 気体デトネーション(爆轟)の「抑止」と「応用」

前田慎市 研究機構 助教(理工学研究科 機械)

13:20~13:35 分子動力学シミュレーションを用いたフィジカルエイジング現象の再現

坂井建宣 研究機構 准教授(理工学研究科 機械)

13:35~13:40 質疑

13:40~13:55 Structural and functional compartmentalization in the cerebellar circuitry development

津田佐知子 研究機構 助教(理工学研究科 生体制御)

13:55~14:10 新規蛍光相関分光法の開発に基づく生体膜中分子の並進拡散測定
乙須拓洋 研究機構 助教 (理工学研究科 応用化学)

14:10~14:15 質疑

14:15~14:30 休憩 (Coffee Break)

後半司会: 津田佐知子、乙須拓洋

14:30~15:10 特別講演 信州大学テニュアトラック制度の歩み
伊藤建夫 信州大学 テニュアトラック事業コーディネーター 特任教授

15:10~15:25 Application of harmonic analysis techniques to dispersive partial differential equations
Neal Bez 研究機構 准教授 (理工学研究科 数学)

15:25~15:40 Impacts of tides on tsunami propagation in the Seto Inland Sea, Japan
李 漢洙 広島大学 大学院国際協力研究科准教授
(前 埼玉大学研究機構 准教授 (理工学研究科 社会基盤))

15:40~15:45 質疑

15:45~16:00 The Transformation of Jewish Identity behind the Militarization of Zionism
鶴見太郎 東京大学 大学院総合文化研究科地域文化研究専攻 准教授
(前 埼玉大学研究機構 准教授 (人文社会科学研究科 社会学))

16:00~16:15 A Pacified Labour? The Transformation of Labour Conflict.
Sung-Chul Noh 研究機構 助教 (人文社会科学研究科 経営学)

16:15~16:20 質疑

16:20~16:25 閉会挨拶
桐谷正信 研究機構研究企画推進室 室長

17:00~18:30 情報交換会 バル・メリンの森 (大学生協)
司会 Neal Bez、坂井建宣

参加費無料 : ただし、情報交換会は、3,000円 (学生1,000円) の会費を申し受けます。

問い合わせ先: テニュアトラック推進オフィス 048-858-9158

ホームページ: <http://www.saitama-u.ac.jp/iron/tt/>